

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後デイ つばさ 駒形		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 2日		2026年 2月 13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数) 10名
○従業者評価実施期間	2026年 2月 2日		2026年 2月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもが自己選択できるような支援の工夫、自己決定する力を育てられるように支援を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> なるべく自己選択できるように見守り、必要に応じて声掛けをしている。 スタッフによる決定は必要最低限にし、自分たちで考え決められるような環境を設定をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己選択する機会を増やしたり、状況に応じてフォローを行い自己決定する力を育てていけるようにする。 こども同士で助け合えるなどし、自分たちでできるように色々なことを経験・体験できる場を提供していく。
2	こどものことを理解しこどもと保護者のニーズや課題を踏まえて柔軟に対応できるように個別支援計画を作成している。	<ul style="list-style-type: none"> 担当者会議の内容を含め各担当を中心に全スタッフの情報をもとに支援会議を行い支援を検討し、個別支援計画を作成している。 保護者から要望があった時にすぐ対応できるように計画を作成している。 	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな分野の視点から意見をだしあいこどもにあったより良い支援方法を検討していけるようにしていく。 より柔軟に対応できるように知識を身に付けていく。 今よりも各自の知識や技術の向上ができる環境作り。
3	事業所の活動プログラム固定化されないように工夫している。	<ul style="list-style-type: none"> 月に1回中間ミーティングを行い、固定化しないように工夫している。また、目的を決め立案したり、その時の状況で内容の変更を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> こどもたちがより興味をもったり、楽しめるようこどもに意見などを聞いて反映できるものは取り入れていきたい。 より柔軟に対応できるように環境整備などをしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	就学前に利用していた保育園や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所との情報共有は少ないと感じる。	<ul style="list-style-type: none"> 新1年生で利用する際に保護者の方から様子を伺うことはできるが、就学前に利用していた場所から聞き取る機会が少ないと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後は状況に応じて就学前に利用していた様子などを伺い情報を共有し、支援に生かせるようにしていく。
2	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図れていない。	<ul style="list-style-type: none"> ハロウィンイベントでは地域の方が仮装を楽しみにしてくれているがそれ以外の交流はほとんどできていない。 交流を図ろうとしているがなかなかタイミング等が難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 時間やタイミング等検討しながら地域の方と交流できる機会を図っていく。また、継続してホームページなどを通して情報を発信していく。
3	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がなかなか難しい。	<ul style="list-style-type: none"> 交流を図ろうとしているがなかなかタイミング等が難しい。 あったとしても公園や児童館などに限られてしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> 時間やタイミング等検討しながら地域の子たちと交流できる機会を図っていく。